



禁止されたIPプレフィックス (Prohibited IP Prefix)

- ・ [禁止されたIPプレフィックス \(Prohibited IP Prefix\)](#) (1 ページ)

禁止されたIPプレフィックス (Prohibited IP Prefix)

このアラームは、監視対象ピアの Routing Information Base (RIB) にインストールされているパブリック IP ルーティングスペースに禁止されたプレフィックスがあるか、または監視対象ピアがそれを転送している場合に検出します。

Bogon は、予約されているか、地域インターネットレジストリ (RIR) に割り当てられていないため、パブリックではない IP アドレスブロックです。[フルBogon (Full bogons)] には、RIR に割り当てられているが、RIR によって特定のネットワークに割り当てられていないアドレスブロックも含まれます。禁止されたプレフィックスのアドバタイズメントをルータでフィルタリングすることをお勧めします。ユーザーは、このアラームを使用して、Bogon アドバタイズメントについてのみアラートを受け取るように選択できます。

考えられる検出される問題

このアラームは、ルータに対する DoS 攻撃の特定に役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールをピアポリシー設定に追加する場合は、[Bogon (Bogons)] または [フル Bogon (Full bogons)] を選択します ([外部ルーティング分析 (External Routing Analysis)] > [設定 (Configure)] > [ポリシー (Policies)] > [ポリシーの追加 (Add Policy)] > [ピアポリシー (Peer Policy)] > [ルールの追加 (Add Rule)] > [禁止されたIPプレフィックス (Prohibited IP Prefix)])。

例

[禁止されたIPプレフィックス (Prohibited IP Prefix)] アラームルールでオプション [Bogons] を使用してピアポリシーを作成し、ピア RTR1 にリンクします。RTR1 が 10.0.0.0/24 ([RFC1918](#))

による BOGON) を Crosswork Cloud Network Insights にアドバタイズすると、アラームはアクティブになりますが、2001:221::/32 (フル Bogons) がアドバタイズされるとアクティブになりません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。